



エコアクション21 環境活動レポート

平成28年8月18日

平成27年7月1日～平成28年6月30日迄



TEL 0263-25-1500 · FAX 0263-27-3705
URL:<http://www.mikasa-nagano.co.jp>

株式会社ミカサ

〒390-0836

長野県松本市高宮北4-2

TEL 0263-25-1500

FAX 0263-27-3705

環 境 方 針

株式会社ミカサは、工業用品、環境用品、梱包資材の販売及び緩衝材の開発・設計・製造していることを踏まえ、私達の出来る最大限の環境活動を実施します。

「**限りある資源**」この言葉を再度認識し、私たち子孫の時代に資源を引き継ぎ、自然環境を守り、さらには地球全体の環境の為に、継続的に環境活動を行います。

- 1、当社の事業活動が地球環境に与える負荷を評価し、技術的、経済的に可能な範囲で環境目標・活動計画を定めて、環境経営の継続的な向上に努め、積極的な環境保護活動を行います。
- 2、環境に関連する法令や規制及びその他の要求事項を遵守し、利害関係者の見解に配慮します。また、これからは必要に応じて当社の自主基準を定め管理します。
- 3、当社の事業活動で環境負荷が以下の改善に努めます。
 - ① 消費エネルギーを削減し、二酸化炭素排出量抑制／削減に努めます。
 - ② 工程から排出される廃棄物の
3R（リデュース、リサイクル、リユース）を取り組みます。
 - ③ 環境負荷の少ない製品の開発、設計に努めます。
 - ④ 生物多様性保全に取り組みます。

2005年 7月 1日 : 初版制定

2010年 9月 30日 : 2版制定

代表取締役社長

三澤 敏宏

目次

1.	会社概要と対象範囲(認証・登録範囲)	1 P
2.	組織図	2 P
3.	環境目標及び環境活動計画	3 P
4.	主な取組の実績	4 P
5-1.	環境活動とその結果(ガス使用量、灯油使用量)	5 P
5-2.	環境活動とその結果 (ガソリン・軽油使用量、重油使用量)	6 P
5-3.	環境活動とその結果 (コピー用紙使用量、温室効果ガス推移)	7 P
5-4.	環境活動とその結果(電気使用量、上下水道使用量)	8 P
6.	減溶チップ、産廃金額経年変化のグラフ (H23~H28)	9 P
7.	E A 2 1 経年変化のまとめグラフ (H17~H28)	10 P
8.	防災訓練レポート	11 P
9.	環境関連法規への違反、訴訟の有無	12 P
10.	活動の見直し	13 P
11.	代表者コメント	13 P

1. 会社概要と対象範囲(認証・登録範囲)

事業者名	株式会社ミカサ
代表者名	代表取締役社長 三澤 敏宏
所在地	長野県松本市高宮北4-2
環境管理責任者 / 担当者 / 連絡先	取締役専務 三澤 寛宗 同上 TEL 0263-25-1500 FAX 0263-27-3705 e-mail hiromune-misawa@mikasa-nagano.co.jp
社内 E A 21 E M S 事務局 / 連絡先	松本市高宮北4-2 (株)ミカサ総務部内 TEL 0263-25-1500 FAX 0263-27-3705 h-page http://www.mikasa-nagano.co.jp e-mail hiromune-misawa@mikasa-nagano.co.jp
事業の内容	旭化成工業株式会社製品の加工、販売 包装資材の販売 包装機械の販売 工業用品の販売 清掃用品及び消耗品の販売
事業の規模	従業員数 26名(パートも含む) 本社/長野県松本市高宮北4-2 工場/長野県松本市井川城1-4-7 床面積 2355㎡

E A 2 1 対象範囲 (認証・登録範囲)	全組織(本社・井川城工場)・全活動
---------------------------	-------------------

2.組織図

最高経営者
代表取締役
三澤 敏宏

環境保護推進委員会
委員長 : 三澤代表取締役
副委員長 : 環境管理責任者 三澤専務
委員 : M常務、K工場長、T・Y、F・T

環境管理責任者
三澤 寛宗

総務・経理部門
本社事務・経理担当
T・Y
事務所内EA21 総括

営業部門
営業部 常務取締役
M・Y
環境負荷のかからない製品設計、開発

品質管理部門
工場長 SUB
K・Y Y・K
品質管理アドバイザー O・H
工場内EA21 総括

営業責任者
営業部 部長
Y・N
営業部内エコドライブ管理

配送部門責任者
F・T
配送部門EA21 統括

サンテックフォームカット・プレス・スライス責任者
製造部 課長 K・M
減溶機管理、サンテック、刃端材管理、型の管理

貼付・組立責任者
K・H(兼工場事務)
チェック係(分別チェック、消灯チェック、温度チェック)及び計量

アスパック責任者
S・Y
アスパックの管理、ボイラー、重油の管理

K・A (サンテック・メ仕入量記録係)
チェック係(分別チェック、消灯チェック、温度チェック)
K・N
EA21 記録係

課長 M・S 係長 S・K
主任 K・T
事務所 タンホール、可燃物等計量係

O・T Y・T
事務所 空缶計量係

A・O K・T
減溶機管理、サンテック、刃端材管理、型の管理

K・T Y・Y
I・A T・S

承認	審査	作成
三澤	三澤	三澤

役割・責任

総務・経理
庶務等の管理
顧客対応

顧客対応
新規品(製品、金型)設計
顧客管理

商品配送
顧客対応
在庫整理

サンテックフォーム、
刃等の加工全般

加工全般

アスパックの
加工全般

3. 環境目標及び環境活動計画

赤字：環境目標（数値）

青字：環境目標及び環境活動計画

	短期目標及び環境活動計画(H27.7.1～H28.6.30)	中期目標及び環境活動計画(H27.7.1～H30.6.30)
①廃棄物排出量の削減及び3 R	<p>産業廃棄物排出量前年比1%削減（16,340kg）</p> <p>・減容率を前年比（2014.7.1～2015.6.30 17,390kg）に対し5%UP（18,259kg）（不良品、取り過ぎ材料を作らない）</p> <p>・メフやその他加工品端材は70デファイストリット E・P・S様に産業廃棄物として処理する。 ・70デファイストリット E・P・S様よりRPF（固形燃料）として処理される。</p> <p>・か加が、雑誌、新聞、ダンボール、シュレッター屑等はヤマカ資源回収様に有償で引き取って頂く。紙は有価物であり簡単にゴミ箱へ入れない様徹底する。</p> <p>・コピー用紙前年度比2%削減（事務所 28,719枚 工場 3,178枚）</p> <p>・サテック、メフ等使用できる端材は破棄しない 不良品率を下げ、無駄なゴミを出さない。</p> <p>（廃掃法に従った廃棄物処理を行う） （毎年の契約書、その都度の業者の許可証のコピーを取り寄せ、マニフェストの発行と管理、実際の追跡）</p>	<p>産業廃棄物排出量前年比3%削減（16,009kg）</p> <p>・メフのマテリアルサイクル化を考察 ・減容率を前年度比10%UPをめざす（18,260kg）</p> <p>・紙類のリサイクル率を上げ可燃物量の削減を実現する。</p> <p>・コピー用紙平成22年度比5%削減（事務所 27,840枚 工場 3,081枚）</p>
②二酸化炭素排出量の削減	<p>・今年度も前年比5%削減に取り組む。（127,788kg-CO2） （平成19年度中部電力英排出係数0.47(kg-CO2/kWh)）</p> <p>・エアコンの室内温度は、夏28℃、冬23℃に設定。 ・ストーブも23℃に設定 ・昼食時の消灯 ・使用していない場所の電気、エアコンを消す。 ・使用していない機械の電源を切る。 ・アイドリングストップ 急発進、急停車の禁止（エコドライブの徹底） ・前年燃費に対し3%UPを目標とする。（各車両ごと）</p> <p>・社内に拘らず、社外に対してもカーシェア、ウォームヒートの推奨をお願いする。 ・社外に対しCO2削減をお願いする為、弊社敷地内でのアイドリング禁止をお願いする。 ・松本市花いっぱい運動への寄付によりCO2削減を外部組織との協働実施</p>	<p>・二酸化炭素排出量を平成20年度比50%削減する（133,790kg-CO2）</p> <p>・社内蛍光灯の総LED化推進</p> <p>・アイドリングストップ、効率の良い運送経路の実現（エコドライブの実施） エコカーへの乗り換え推進</p> <p>・H21平均燃費に対し5%UPを目標とする。（各車両ごと）次期車向の選定（エコカー）</p> <p>・引き続きお願いする。 ・引き続きお願いする。 ・引き続き参画</p>
③水使用量の削減	<p>・節水の継続的取組み（269ml以下） 増加傾向がある為、蛇口の閉め忘れ等十分注意する。</p>	<p>・節水の継続的取組み（269ml以下）</p>
④化学物質の管理	<p>・化学物質を適正に管理する</p>	<p>・化学物質を適正に管理する</p>
⑤法令等の遵守	<p>・環境法令の調査、リスト作成および関係法令の周知（環境基本法～） ・M S D Sを会社で管理・社員に周知・対策検討 ・防災検査結果の確認 ・フロン排出抑制法対策（エアコンの簡易点検実施）</p>	<p>・法令の調査、リスト作成および関係法令の周知及び順法の徹底 ・緊急時の訓練を年1回実施する。 ・環境教育の推進</p>
⑥環境教育の推進	<p>・環境ミーティングを実施 生物多様性保全の探求の結果、弊社としての具体的な取り組みは3 Rの推進であると再確認。サテックフォームのチャージ化によるリサイクル（工場）、通い箱の提案によるリース（営業）紙ごみのリサイクル（全体）、LED-数の削減リソース（全体）</p>	<p>・社員の意識を高め、無理・無駄をなくした環境経営を確立する ・継続的な取り組みにより生物多様性保全への貢献</p>
⑦環境負荷の少ない商品の購入、開発	<p>・サテック、メフ等の設計時には歩留まりを考え、無駄の少ない設計を行う 商品開発をすすめて、「通い箱」などを提案・普及に努める。</p> <p>・グリーン購入の推進</p>	<p>・サテック、メフ等の設計時には歩留まりを考え、無駄の少ない設計を行う ・商品開発をすすめて、「通い箱」などを提案・普及に努める。 ・分別しやすい設計を行う ・リサイクルマークを付ける設計を心がける。 ・自然素材の包装材の開発</p>

4.主な取組みの実績

赤字：環境目標（数値等）

青字：環境目標及び環境活動計画

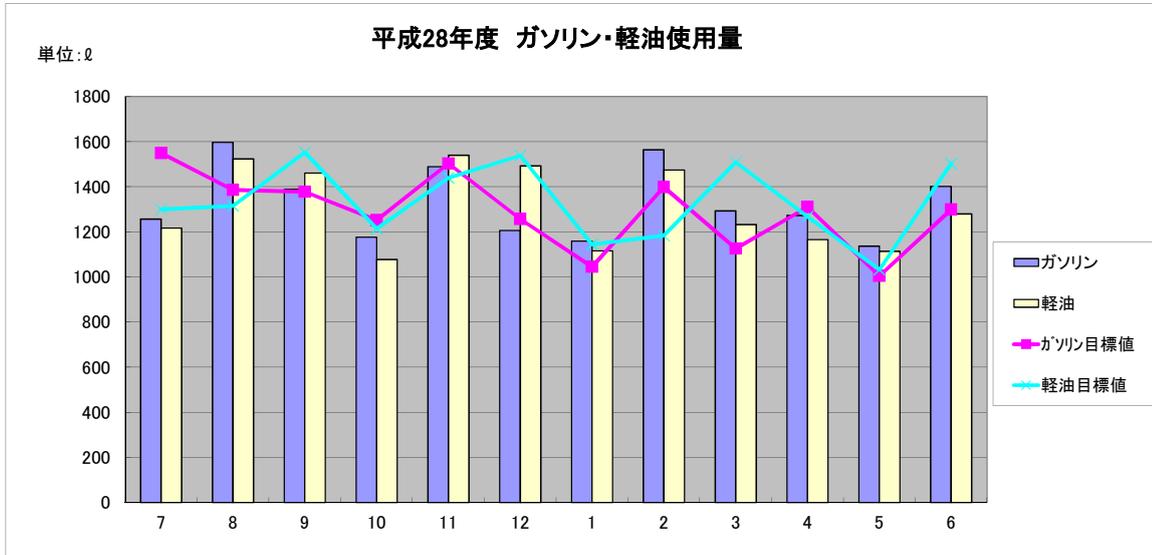
	実績	短期目標及び環境活動計画(H27.7.1～H28.6.30)	評価
①廃棄物排出量の削減及び3R	<ul style="list-style-type: none"> × ○ ○ ○ × × ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ・減溶率を前年比（2014.7.1～2015.6.30 17,390kg）に対し5%UP（18,259kg）（不良品、取り過ぎ材料を作らない） ・メフやその他加工品端材はフoniaスリット E・P・S様に産業廃棄物として処理する。 ・フoniaスリット E・P・S様よりRPF（固形燃料）として処理される。 ・かがみ、雑誌、新聞、ダンボール、シュレッター屑等はヤマカ資源回収様に有価で引き取って頂く。紙は有価物であり簡単にゴミ箱へ入れない様徹底する。 ・コピー用紙前年度比2%削減(事務所 28,719枚 工場 3,178枚) ・サテック、メフ等使用できる端材は破棄しない 不良品率を下げ、無駄なゴミを出さない。 ・廃掃法に従った廃棄物処理を行う。 (毎年の契約書、その都度の業者の許可証のコピーを取り寄せ、マニフェストの発行と管理、実際の追跡) 	<ul style="list-style-type: none"> ・今期減容量（17,600kg）と目標値(18,259kg)と前年実績よりは若干増えたが目標達成には至らなかった。原油価格の下落と円高が重なり購入金額が2015.9迄@32/kgが2016.2～@15/kgとなってしまった。総金額では¥396,180と前年の¥521,700より▲¥125,520となってしまった。世の中の情勢により左右されるのは仕方が無いので、減溶率UPを心がけてほしい。 ・不良品、取り過ぎ材料が貼り場2Fにある事が品質向上委員会の課題となっている。すべてお金である。（利益になる筈のお金）お金を溶かして格安で売っているのと同じである。（産廃も有るので単純にお金を捨てているケースも多い。）まずは不良品を出さない。取り過ぎ材料を無くす事。最重要テーマである。 ・事務所のコピー用紙使用量は、1,128枚プラスと目標達成とはいかなかった。必要のないコピーを取っていると感じる事が度々ある。 ・工場は▲494枚と目標達成である。（タブレット効果か？）もっとペーパーレスシステムを活用してほしい。判らなければ聞いてほしい。
②二酸化炭素排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> × ○ ○ ○ ○ ○ ○ × × ○ ○ ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も前年比5%削減に取り組む。(127,788kg-CO2) (平成19年度中部電力美排係数0.47(kg-CO2/kWh)) ・エアコンの室内温度は、夏28℃、冬23℃に設定。 ・ストーブも23℃に設定 ・昼食時の消灯 ・使用していない場所の電気、エアコンを消す。 ・使用していない機械の電源を切る。 ・アイドリングストップ 急発進、急停車の禁止（エコドライブの徹底） ・前年燃費に対し3%UPを目標とする。(各車両ごと) ・社内に拘らず、社外に対してもカーブス、ウォームヒートの推奨をお願いする。 ・社外に対しCO2削減をお願いする為、弊社敷地内でのアイドリング禁止をお願いする。 ・松本市花いっぱい運動への寄付によりCO2削減を外部組織との協働実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・二酸化炭素排出量は目標達成には至らなかった。9,205/kg-CO2オーバーしてしまった。 ・電気では事務所側では目標達成までは至らなかった。+442kWh ・工場の電気は+3,644kWhとずいぶん増えてしまった。 ・昨年5月キッチンマシン導入もあり電力は+の傾向にある。(必要な電力である) ・廃棄物排出量の削減及び3Rでも触れたが、不良品、取り過ぎ材料を無くす事が電力量削減もできる(本来使わなくて済んだ電力の削減) 最優先課題である。 ・工場LED化も最重要テーマとして検討していく。 ・初めて軽油の目標達成が出来た。本年度1月にトラック1台リニューアルした効果と思われる。 ・次年度は、工場トラック入替を検討している。 ・ガソリンは未達成で、+433ℓであった。計画的な入れ替えを行うと同時に今以上のエコドライブを追求してほしい。 ・灯油は計測開始史上過去最高量を記録してしまった。常に同じ温度設定にはせずにこまめに調整する努力をお願いしたい。
③水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> × 	<ul style="list-style-type: none"> ・節水の継続的取り組み(269m) 増加傾向がある為、蛇口の閉め忘れ等十分注意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少しずつ増えている。 ・初心に戻り節水をお願いする。
④化学物質の管理	<ul style="list-style-type: none"> ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ・化学物質を適正に管理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・化学物質管理規定に基づき適正に管理出来た。
法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ ○ ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境法令の調査、リスト作成および関係法令の周知(環境基本法～) ・MSDSを会社で管理・社員に周知・対策検討 ・防災検査結果の確認 ・フロン排出抑制法対策(エアコンの簡易点検実施) 	<ul style="list-style-type: none"> ・法令の調査、リスト作成および関係法令の周知及び順法の徹底 ・緊急時の訓練を年1回実施した。 ・環境教育の推進
環境教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> × × 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境ミーティングを実施 ・生物多様性保全の探求の結果、弊社としての具体的な取り組みは3Rの推進であると再確認。サテックファームのトップ化によるリサイクル(工場)、通い箱の提案によるリユース(営業)紙ごみのリサイクル(全体)、コピー数の削減リデュース(全体) 	<ul style="list-style-type: none"> ・社員の意識を高め、無理・無駄をなくした環境経営を確立する ・7月より品質向上委員会を発足した。 ・元エプソン(株)様の生産管理を歴任した小穴様をアドバイザーとして向かえご指導頂いている。 ・5S3定からはじめていますが、品質管理と環境教育は有る意味土台は同じと理解。
環境負荷の少ない商品の購入、開発	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ・サテック、メフ等の設計時には歩留まりを考え、無駄の少ない設計を行う 商品開発をすすめ、「通い箱」などを提案・普及に努める。 ・グリーン購入の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・今期も工場間の通い箱も何件か受注できた。 ・今後も継続的に提案を行う。 ・グリーン購入リストに従い弊社使用文具の購入を行う。

5-2環境活動と結果（ガソリン・軽油使用量、重油使用量）

ガソリン・軽油環境目標：前年比5%削減

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
ガソリン	1,256.94	1,596.64	1,388.85	1,176.83	1,489.23	1,206.13	1,158.89	1,563.73	1,293.11	1,273.02	1,137.15	1,401.89	15,942.41
ガソリン目標値	1,549.20	1,386.41	1,377.72	1,252.38	1,503.08	1,256.76	1,044.95	1,399.06	1,126.24	1,309.68	1,004.69	1,299.32	15,509.50
評価	○	×	×	○	○	○	×	×	×	○	×	×	×
軽油	1,216.81	1,523.81	1,460.83	1,077.68	1,539.63	1,492.31	1,115.81	1,474.08	1,232.31	1,165.52	1,114.00	1,279.41	15,692.20
軽油目標値	1,299.91	1,315.35	1,553.07	1,214.67	1,439.31	1,538.26	1,144.47	1,184.28	1,508.98	1,267.61	1,032.42	1,502.78	16,001.11
評価	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○

単位：ℓ



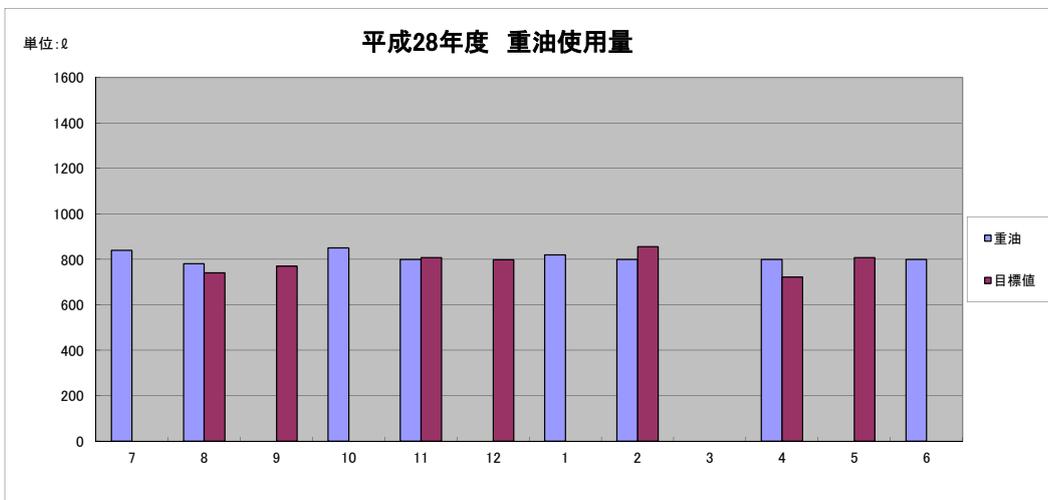
ガソリン・軽油使用量考察

- ◎軽油は配送の努力によって目標達成できた。
本年度1月に1台新しいトラックに替えた効果が出たと思われる。
残り2台のトラックも大分老朽化が進んでいる。
計画的に入れ替えたい。
- ◎ガソリン車も同様、計画的に入れ替えを行い燃費向上を目指す。
しかし、根底でもあるエコドライブの努力を忘れてはならない。

重油使用量環境目標：前年比5%削減

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
重油	840	780	0	850	800	0	820	800	0	800	0	800	6,490
目標値	0	741	770	0	808	798	0	855	0	722	808	0	5,501
評価	×	×	○	×	○	○	×	○	○	×	○	×	×

単位：ℓ



重油使用量考察

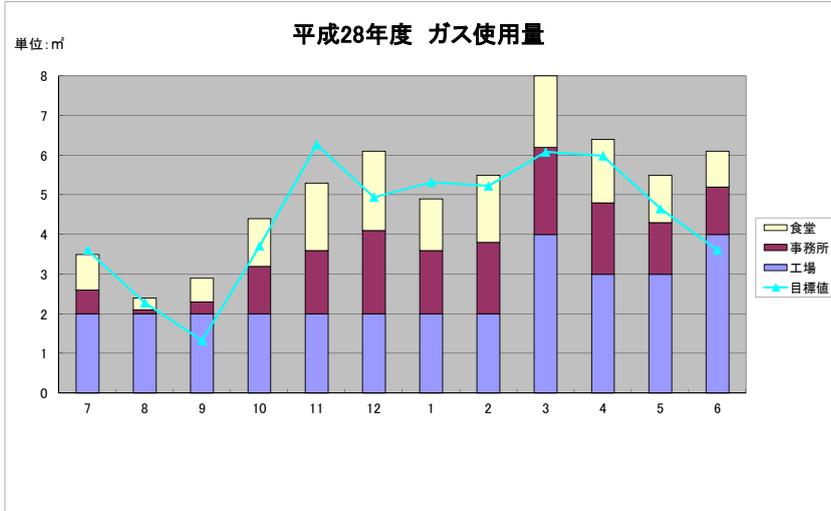
- ◎給油回数 昨年度は7回だったのに対し本年度は8回と1回分多い。
生産量は254袋減っている。(昨年度3,615袋 本年度3,361袋)
締めタイミング（在庫数）の関係もあるが、989ℓ多いのそれ以外の要因と考えるのが妥当である。
前年度と今年度の違いを精査する必要がある。
(ボイラー or 発泡機 or 生産のタイミング（発泡回数） など)

5-1環境活動と結果(ガス使用量、灯油使用量)

ガス使用量 環境目標：前年比5%削減

単位：m³

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
工場	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	4.0	3.0	3.0	4.0	30.0
事務所	0.6	0.1	0.3	1.2	1.6	2.1	1.6	1.8	2.2	1.8	1.3	1.2	15.8
食堂	0.9	0.3	0.6	1.2	1.7	2.0	1.3	1.7	1.8	1.6	1.2	0.9	15.2
合計	3.5	2.4	2.9	4.4	5.3	6.1	4.9	5.5	8.0	6.4	5.5	6.1	61.0
目標値	3.6	2.3	1.3	3.7	6.3	4.9	5.3	5.2	6.1	6.0	4.7	3.6	53.0
評価	○	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×

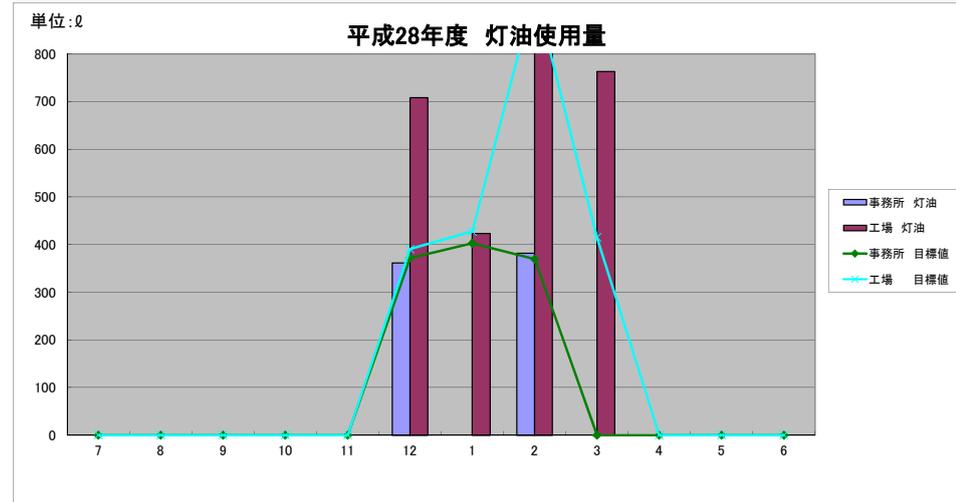


考察 (ガス主要量) ◎ほとんどの月で目標未達である。
特に3月は過去最高値を記録してしまった。
今年の冬は雪は少なかつたけれども寒かった。
しかしそれを言い訳にはならない。
少しでも減らす努力をお願いしたい。

灯油使用量 環境目標：前年比5%削減

単位：ℓ

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計	評価	事務所+工場	総合評価
事務所 灯油	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	361.3	0.0	381.7	0.0	0.0	0.0	0.0	743.0	○		
工場 灯油	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	708.0	423.0	1,201.0	763.0	0.0	0.0	0.0	3095.0	×	3838.0	×
事務所 目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	371.6	402.9	369.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1144.1			
工場 目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	390.5	427.5	932.0	415.2	0.0	0.0	0.0	2165.1		3309.1	



考察 (灯油使用量) ◎工場の灯油使用量が、計測開始後、過去最高量を記録してしまった。
計測開始時 (H19年度) が今まででは一番多く 2,448 ℓ であった。
H24年度は最少の 1,559 ℓ 迄減らす事が出来たが
本年度の使用量は 3,095 ℓ であり、H24年度の約倍の使用量となつてしまった。
◎過去のストーブ設置箇所 (貼場、コウバ、アスパック2 F、工場事務所)
現在のストーブ設置箇所 (貼場、コウバ、アスパック2 F、カッティングマシン室)
工場事務所はH20年度にはストーブを撤去したので、3台の稼働であったが、本年度は
カッティングマシン室でストーブを使用することとなった。
◎事務所では私がストーブの温度を管理しているので良くわかるが、同じ冬場でも
朝は非常に寒くなるが、日中になると比較的暖かい日もある。
その都度温度を調整するように心がけている。
常に同じ温度設定にはせずにこまめに調整する努力をお願いしたい。
◎無人であるカッティングマシン室のストーブが点いていたとの報告があった。
絶対にやってはならない事である。火事に繋がる重大な過失である。

5-3環境活動と結果（コピー用紙使用量、温室効果ガス推移）

コピー用紙使用量環境目標：前年比3%削減

ミカサ工場

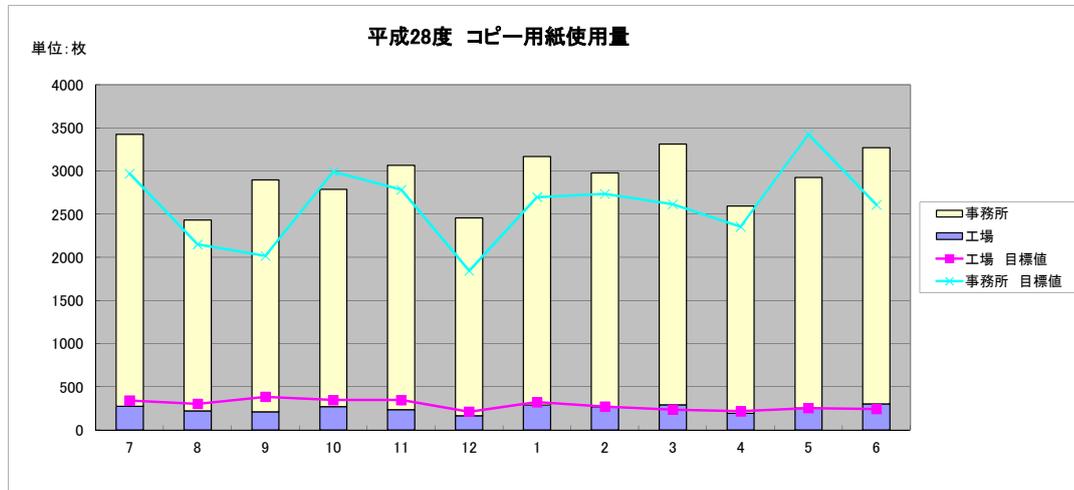
単位：枚

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
工場	276	222	213	273	237	167	290	272	294	194	256	305	2,999
工場 目標値	342	305	386	348	348	214	323	272	237	218	255	245	3,493
評価	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○

ミカサ事務所

単位：枚

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
事務所	3,150	2,211	2,687	2,518	2,832	2,290	2,881	2,708	3,021	2,402	2,672	2,967	32,339
事務所 目標値	2,972	2,153	2,018	2,994	2,784	1,845	2,699	2,737	2,618	2,356	3,426	2,609	31,211
評価	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	×

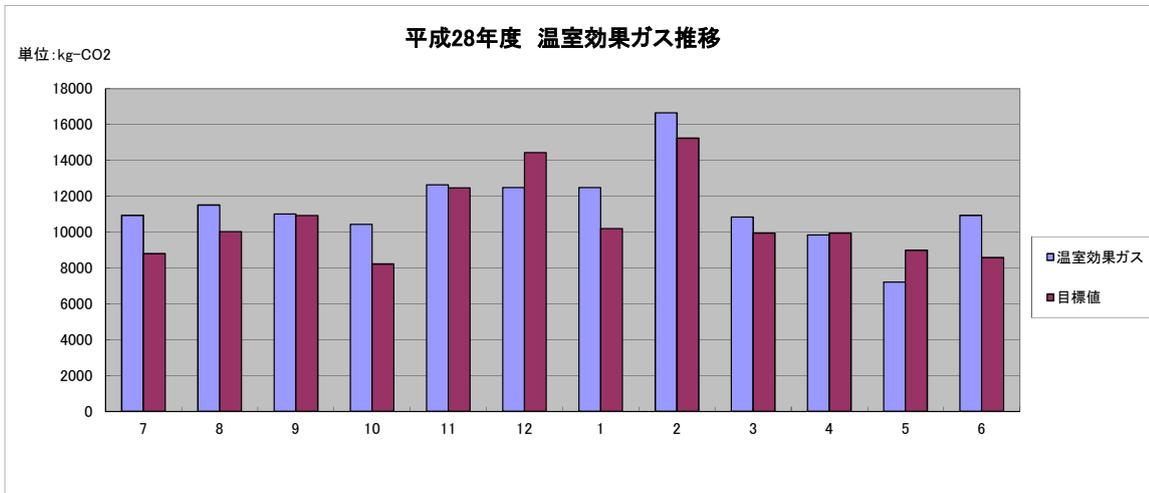


コピー用紙使用量考察 ◎ 本年度も目標達成には至らなかった。
ペーパーレスシステムの機能が十分生かされていない。
紙を出力しない方法を常に考えてほしい。
判らない場合は相談してほしい。

温室効果ガス環境目標：前年比5%削減

単位：kg-CO2

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
温室効果ガス	10,941	11,512	11,008	10,432	12,632	12,481	12,495	16,656	10,840	9,844	7,215	10,938	136,994
目標値	8,801	10,033	10,931	8,222	12,475	14,437	10,202	15,237	9,941	9,940	8,988	8,582	127,789
評価	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×	×



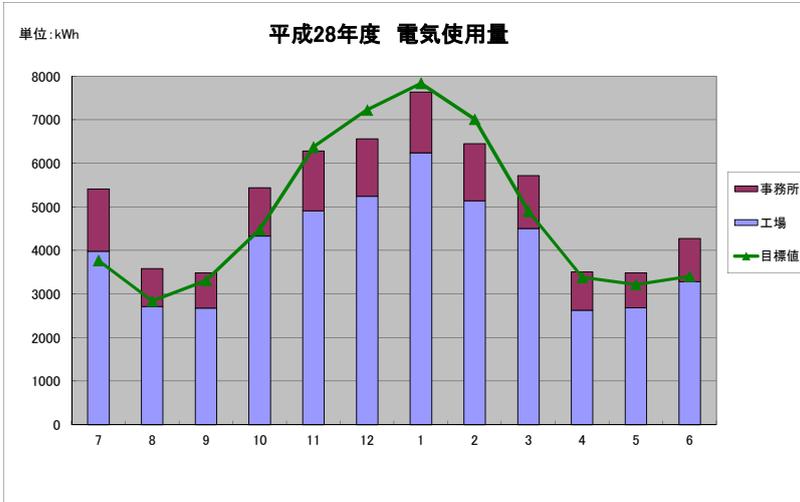
温室効果ガス考察 ◎ 結果は目標未達である。
E A 21の肝となる項目である。(電気、ガス、ガソリン、軽油、重油が関わる最重要項目)
この目標数値 達成 o r 未達 によって本年度 E A 2 1 活動の評価が決まる。
よって本年度は × である。
次年度は ○ の評価となるよう出来る事から努力してほしい。

5-4環境活動と結果(電気使用量、上下水道使用量)

電気使用量環境目標：前年比5%削減

単位：kWh

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計	評価
工場	3,985	2,718	2,678	4,331	4,915	5,247	6,241	5,145	4,505	2,629	2,685	3,286	48,365	×
前年工場	2,764	2,123	2,639	3,497	5,052	6,161	6,880	6,115	3,954	2,526	2,608	2,756	47,075	
事務所	1,430	870	811	1,112	1,372	1,321	1,395	1,309	1,216	879	803	990	13,508	×
前年事務所	1,207	872	847	1,220	1,661	1,447	1,372	1,267	1,211	1,038	782	830	13,754	
工場+事務所	5,415	3,588	3,489	5,443	6,287	6,568	7,636	6,454	5,721	3,508	3,488	4,276	61,873	×
目標値	3,772	2,845	3,312	4,481	6,377	7,228	7,839	7,013	4,907	3,386	3,221	3,407	57,788	
評価	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×		



電気使用量考察 ◎事務所は前年より若干減らす事が出来たが、目標達成には至らなかった。

本年度使用量 13,508kWh 目標値 13,066kWh +442kWh

無人である倉庫の電気が点いているのを時々みかけた。

使用後の消灯は当然出来ていると感じていたが、E A 2 1を取り組んで10年、気持ちに多少緩みができた結果と思わざるをえない。

◎工場は生産量に比例して増減がある為、経営的な視点から考えると受注減による削減は喜べない。

本年度使用量 48,365kWh 目標値 44,721kWh +3,644kWh

昨年度は11月～2月にかけてが繁忙期であった。本年度は3月～6月にかけて繁忙期を向かえ実際に使用量が大幅に増えた。

昨年5月に導入したカッティングマシンも電力で稼働する為、消費電力はプラス材料となる。

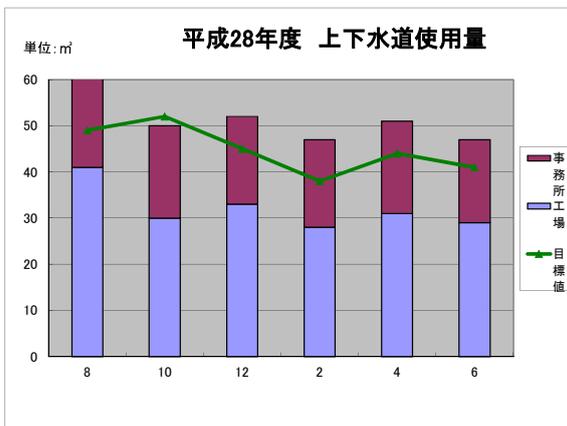
忙しいことは喜ばしい事であるが、無駄な電力は無くさなくてはならない。

不良品をつくれば、2倍以上の電力が発生する。(電力以外でも人件費、廃棄代、軽油代など)生産活動に必要な電力以外(本来使わなくて済んだ電力)を無くす術をいま一度考えてほしい。

上下水道使用量環境目標:節水の継続的な取り組み

単位：㎡

	8期	10期	12期	2期	4期	6期	合計
工場	41	30	33	28	31	29	192
事務所	21	20	19	19	20	18	117
合計	62	50	52	47	51	47	309
目標値	49	52	45	38	44	41	269
評価	×	○	×	×	×	×	×

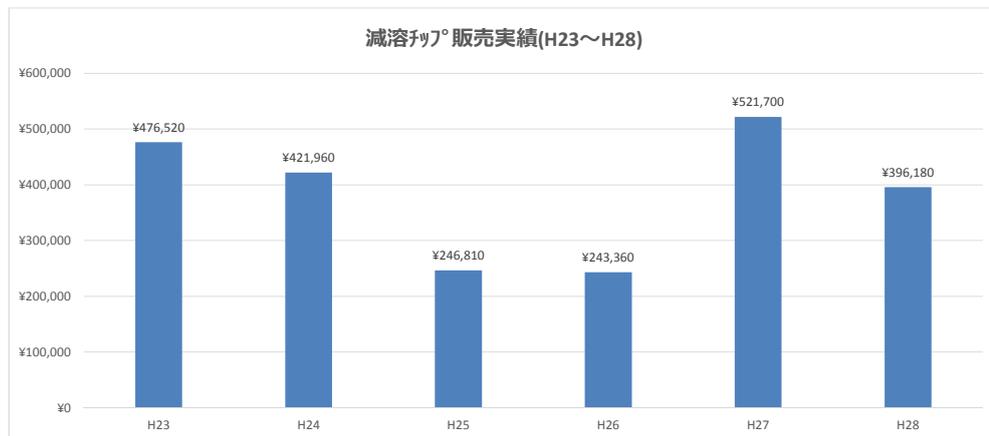


上下水道考察 ◎少しづつ水道料が増えている。

いま一度初心に戻り節水に協力をお願いします。

6.減溶チップ、産廃金額経年変化のグラフ（H23～H28）

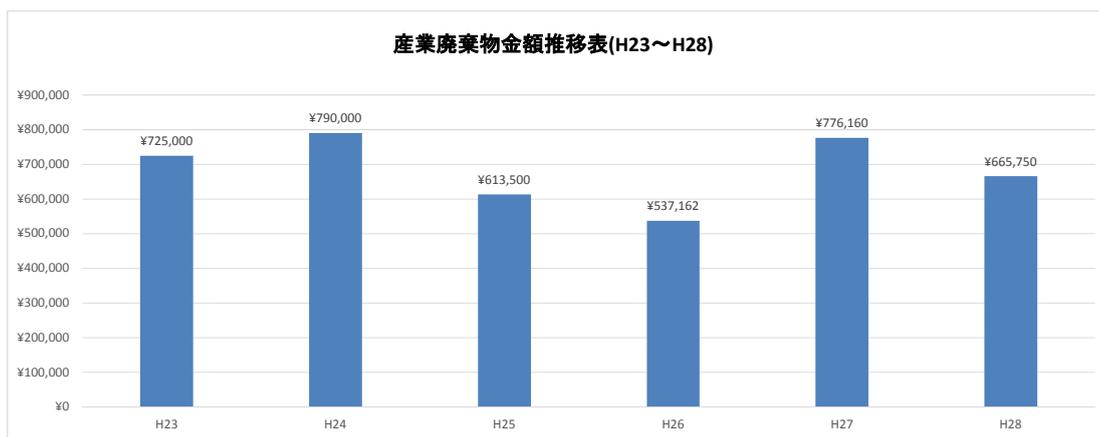
減溶チップ環境目標：前年比5%アップ



	金額	減溶量 (kg)
H23	¥476,520	16,600
H24	¥421,960	14,350
H25	¥246,810	10,050
H26	¥243,360	9,110
H27	¥521,700	17,390
H28	¥396,180	17,600

目標値 18,259
 評価 ×

減溶チップ考察 H28.2月より円高、原油安の影響により ¥28/kg ~ ¥15/kg へと暴落してしまった。
 減溶数は前期17390 kg ~ 今期17600 kgへ+210 kg 増えたが結果目標達成には至らなかった。
 金額は経済環境により左右されるので仕方が無いが、減溶率のUPはまだ可能と思われる。

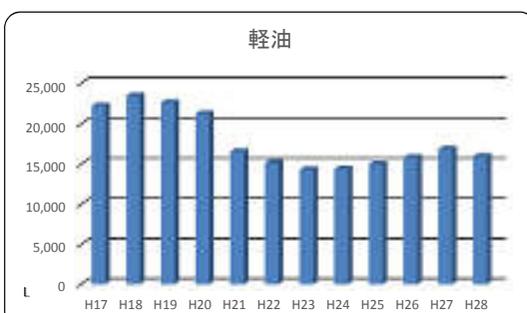
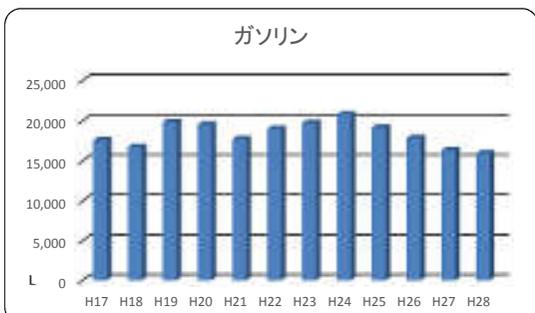
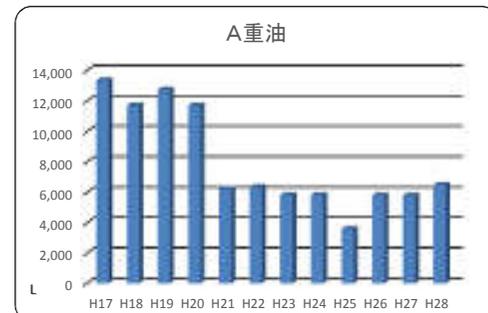
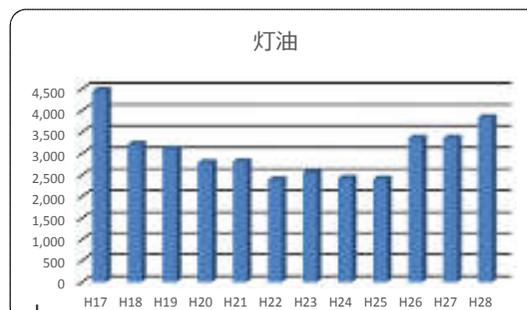
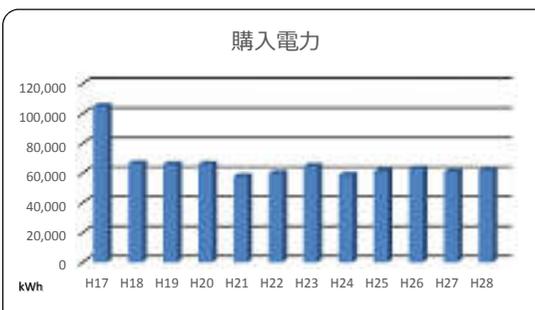
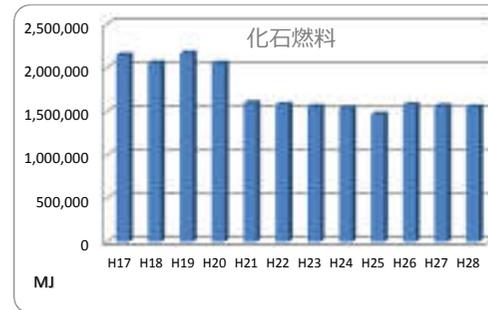
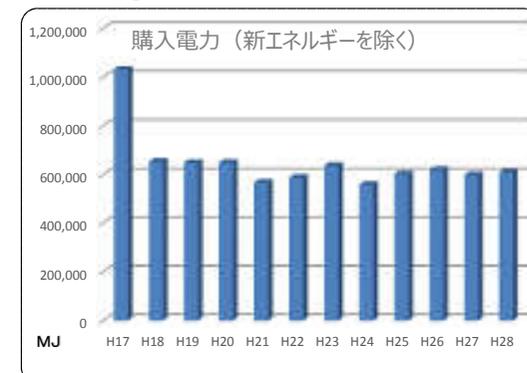
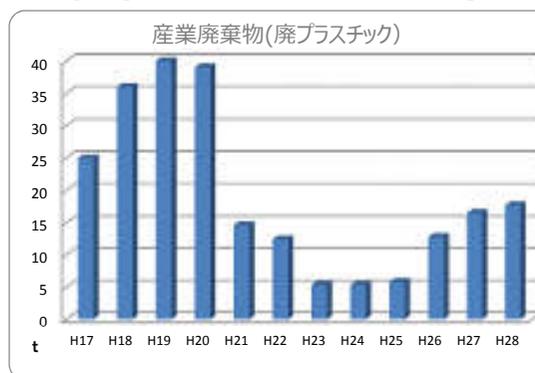
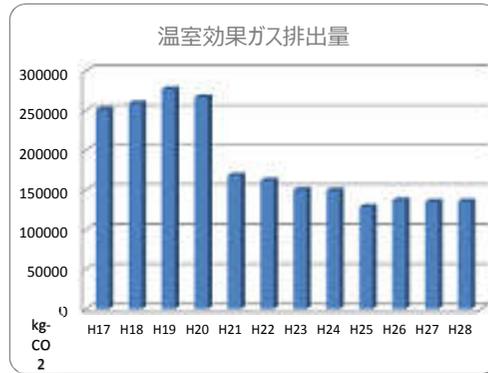


H23	¥725,000
H24	¥790,000
H25	¥613,500
H26	¥537,162
H27	¥776,160
H28	¥665,750
総計	¥4,107,572
年平均	¥684,595
月平均	¥57,049

産廃考察

- ◎ 産業廃棄物の金額の推移をH22～H27迄を表にしてみた。
 減溶しているサンテックフォームやJSP様に引き取って頂いているエルブロック端材を除いた、フロンティアスピリット様に出している産廃の金額である。
- ◎ 主な産廃は減溶出来ないサンテックフォーム（着色品やQ15以下の低発泡品）、メフ、ウレタン、サハ® 肋系、Pホート® 系、ダンブラ系等。
- ◎ 期によって生産される商品構成によってリサイクル出来る端材 or 産廃端材の割合も変わってくる為、単純に削減要請は出来ない。しかし、不良品、取りすぎ端材、過剰生産品、発注ミス商品、減溶できるサンテックフォーム等産廃に出さなくても良かった物も多々あったと思う。
- ◎ 経営的な観点では、人件費、材料費、電気代、軽油代（運賃）、等本来支払わなくて良かったお金が発生する。（そのお金は必要な修繕、備品、戦略的なアイテム、賞与などに使えた筈である）
- ◎ 月平均¥57,049産廃費として支払っている。ゴミもお金である事をもう一度見直してほしい。

7.EA2 1 経年変化のまとめグラフ (H17~H28)



環境への負荷		単位	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg-CO ₂	251,228	258,971	276,743	266,732	168,032	161,792	149,976	149,447	128,482	136,777	134,874	135,260
	産業廃棄物	t	24.98	36	40	39	14.64	12.44	5.36	5.34	5.81	12.81	16.5	17.7
エネルギー使用量	購入電力 (新エネルギーを除く)	MJ	1,031,461	652,643	647,983	648,622	566,856	587,381	635,971	557,384	601,379	618,788	597,949	608,211
	化石燃料	MJ	2,145,439	2,054,263	2,165,927	2,050,104	1,594,341	1,576,084	1,553,233	1,534,267	1,467,368	1,574,745	1,560,278	1,548,148
	購入電力	kWh	104,930	66,393	65,919	65,984	57,666	59,754	64,697	58,737	61,178	62,949	60,829	61,873
	灯油	L	4,464	3,219	3,107	2,790	2,817	2,389	2,564	2,429	2,411	3,361	3,361	3,838
	A重油	L	13,350	11,700	12,730	11,700	6,220	6,350	5,820	5,820	3,590	5,800	5,790	6,490
	ガソリン	L	17,551	16,721	19,847	19,524	17,711	19,001	19,728	20,785	19,152	17,850	16,325	15,942
	軽油	L	22,204	23,454	22,628	21,235	16,543	15,177	14,306	14,387	15,017	15,826	16,843	15,962

8. 防災訓練レポート



事務所にて警報機の説明



事務所にて消火器の取り扱い説明



避難及び緊急時の対応についての説明



工場にて警報機、消火器の説明



大型液体消火器の取り扱い説明

参加者 事務所 社長、三澤会長、三澤専務、百瀬常務、山越部長、丸山課長、酒井係長、久保田主任
竹内、熊澤、小林

工場 加藤工場、菊池、青木、久保田、柳澤、小出澤、上條、市川、瀧、鈴木、三澤専務

講師 CSK総合防災隊

9.環境関連法規への違反、訴訟の有無

法律名	適用項目	要求事項	チェック結果
・廃棄物処理法 ・産廃物の適正な 処理の確保に関する 条例（長野県）	産業廃棄物（廃プラ）	<input type="checkbox"/> 産業廃棄物処理基準（法12条） <input type="checkbox"/> 産業廃棄物保管基準（法12条） ・周囲に囲いを設置 ・所定要件を備えた掲示板を設置 ・ほか保管基準に則した適正な保管 <input type="checkbox"/> 産業廃棄物処理委託基準（法12条） ・許可業者等に委託 ・許可業者等の事業の範囲（許可品目等）が適切 ・契約書（所定事項の記載、所定書面の添付）の締結、5年間保存 ・ほか委託基準に則した許可業者等への処理委託 <input type="checkbox"/> マニフェスト（産業廃棄物管理票）等（法12条の3、12条の5） ・産業廃棄物引渡し時のマニフェストの交付（所定事項の記入）、A票の保存（5年間） ・B2（積替えてB4、B6追加の場合あり）、D、E票の返送確認、保存（5年） ・期限内にマニフェストの写しの返送がないなどのとき又は処理業者から処理困難通知を受けたときは、速やかに処理の状況を把握し、適切な措置を講じる。（定める期限までに知事に報告も） ・マニフェスト交付等状況を知事に報告（毎年6月30日までに）（電子マニフェスト分は不要） <input type="checkbox"/> 処理状況の確認等（条例11条、（法12条）） ・産業廃棄物処理の状況に関する確認と必要な措置 ・上記において、不適正な処理（又はおそれ）のときは、速やかに適切な措置を講じる。（定める期限までに知事に報告も） <input type="checkbox"/> 不法投棄、不法焼却の禁止（法16条、16条の2）	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	一般廃棄物	<input type="checkbox"/> 一般廃棄物処理委託基準（法6条の2） ・許可業者等に委託 ・許可業者等の事業の範囲（許可品目等）が適切	<input type="checkbox"/>
・消防法 ・松本市広域連合 火災予防条例 〈限定的に扱う〉	少量危険物 指定可燃物	<input type="checkbox"/> 貯蔵及び取扱いの技術上の基準等の遵守、届出 （法9条の4、条例30条～34条の3、51条）	<input type="checkbox"/>
水質汚濁防止法	貯油施設	<input type="checkbox"/> 事故時の応急措置及び届出（法14条の2）	<input type="checkbox"/>
フロン排出抑止法	業務用エアコン	<input type="checkbox"/> 第一種特定製品の管理者の判断の基準となるべき事項（法16条） ・四半期に一度の簡易点検など <input type="checkbox"/> フロン類の放出の禁止（法86条） <input type="checkbox"/> 第一種特定製品廃棄等実施者の引渡義務（法41条） <input type="checkbox"/> 第一種特定製品廃棄等実施者による書面の交付等（法43条） <input type="checkbox"/> 引取証明書（法45条） <input type="checkbox"/> 費用負担（法74条）	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
労働安全衛生法 〈限定的に扱う〉	化学物質等	<input type="checkbox"/> 安全衛生推進者の選任（法12条の2） <input type="checkbox"/> 危険・健康障害防止措置（法20条～36条） <input type="checkbox"/> 危険物、有害物の規制 ・名称等の表示等（法57条） ・文書の交付等（SDS）（法57条の2） ・リスクアセスメント（法57条の3） <input type="checkbox"/> 安全衛生教育（法59条、60条） <input type="checkbox"/> 健康診断等（法66条～66条の6、66条の8） <input type="checkbox"/> 報告等（法100条） <input type="checkbox"/> 法令等の周知（法101条） <input type="checkbox"/> 書類の保存等（法103条）	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
松本市公害防止条例	騒音（送風機）	<input type="checkbox"/> 公害発生時の措置（条例11条） <input type="checkbox"/> 監視（条例12条） <input type="checkbox"/> 規制基準の遵守義務（条例13条）	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

弊社にて関係法令遵守状況を再度チェックを行い違反が無いことを確認した。
 また関係機関・近隣住民からの指摘などは無く、また訴訟等は1件も無かった。

10.環境活動の見直し

<p>廃棄物</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今期減容量（17,600kg）と目標値（18,259kg）と前年実績よりは若干増えたが目標達成には至らなかった。 ・原油価格の下落と円高が重なり購入金額が2015.9迄@32/kgが2016.2～@15/kgとなってしまった。 ・総金額では¥396,180と前年の¥521,700より▲¥125,520となってしまった。 ・世の中の情勢により左右されるのは仕方が無いので、減容量UPを心がけてほしい。 ・不良品、取りすぎ材料が貼り場2Fにある事が品質向上委員会の課題となっている。 ・すべてお金である。（利益になる蓋のお金） ・お金を溶かして格安で売っているのと同じである。（産廃も有るので単純にお金を捨てているケースも多い。） ・まずは不良品を出さない。取り過ぎ材料を無くす事。最重要テーマである。 ・事務所のコピー用紙使用量は、1,128枚プラスと目標達成には至らなかった。 ・必要のないコピーを取っていると感じる事が度々ある。 ・もっとペーパーレスシステムを活用してほしい。判らなければ聞いてほしい。 ・工場は▲494枚と目標達成である。（タブレット効果か？）
<p>二酸化炭素排出量の削減</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・二酸化炭素排出量は目標達成には至らなかった。9,205/kg-CO₂オーバーしてしまった。 ・電気使用量の事務所側は目標達成までもう少しいった。+442kWh ・工場の電気は+3,644kWhとずいぶん増えてしまった。 ・昨年5月カテナゲマシンの導入もあり電力は+の傾向にある。（必要な電力である） ・廃棄物排出量の削減及び3Rでも触れたが、不良品、取り過ぎ材料を無くす事が電力量削減もできる（本来使わなくて済んだ電力の削減）最優先課題である。 ・工場LED化も重要テーマとして検討していく。 ・初めて軽油が目標達成となった。本年度1月にトラック1台リコー7Lした効果と思われる。 ・次年度は、工場トラック入替を検討している。 ・ガソリンは未達成で、+433ℓであった。計画的な入れ替えを行うのと同時に今以上のエコドライブを追求してほしい。 ・灯油は計測開始史上過去最高量を記録してしまった。 ・常に同じ温度設定にはせずこまめに調整する努力をお願いしたい。
<p>水使用量の削減</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・少しずつ増えている ・初心に戻り節水をお願いする。
<p>化学物質の管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・化学物質管理規定に基づき管理できた。
<p>法令等の遵守</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・法令の調査、リスト作成および関係法令の周知及び順法の徹底 ・緊急時の訓練を年1回実施した。 ・環境教育の推進
<p>環境教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社員の意識を高め、無理・無駄をなくした環境経営を確立する ・7月より品質向上委員会を発足した。 （元エプソン様様の生産管理を歴任した小穴様をアドバイザーとして向かえご指導頂いている。） （5S3定からはじめていますが、品質管理と環境教育は有る意味土台は同じと理解。）
<p>環境負荷の少ない商品の開発</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今期も工場間の通い箱も何件か受注できた。 ・今後も継続的に提案を行う。 ・グリーン購入リストに従い弊社使用文具の購入を行う。

11.代表者のコメント

英国のEU離脱問題に端を発し、急激な円高が進行しており、輸出系製造業のお客様の業績が為替差損の影響で大幅に悪化している様です。

ここ数年、アベノミクスの効果で円安の恩恵を受けていた企業が、一気に逆風にさらされてしまい、日本の景気も再び停滞してしまいそうな状況です。

我社も、ここ数年のお客様の好業績のお陰で、増収増益で推移出来ておりましたが、先行きは全く不透明な状況です。

そんな中、昨年度は導入したサンプルカッターを利用した提案・受注が増えた為、サンプルカッター室の光熱費が新たに上乘せされ、電気代、灯油代、が大きく増えてしまいました。

サンプルカッターの稼働率がアップすることは、我社にとっては受注増を意味し有難い事ですので、その増加分を他の取り組みで削減していければと思っております。

やはり大幅に二酸化炭素の排出量を減らすには、老朽化したハード面のリプレイスが一番だと思います。

今年配送のトラックを1台、新型車に入れ替えました。

工場の大型エアコンも最新型の省エネタイプにリプレイスしました。

今年度は工場配送の大型トラックの新型車への入れ替えも検討しております。

また、工場の品質向上を目指し新たなプロジェクトも発足しました。

今年度は、これらの効果が数字に表れてくる事を期待しております。

景気回復に伴い、エコアクション21への取り組みも惰性化している感も否めませんが、いま一度初心に戻り、

今年度も、社員一同環境保全活動を推進していきたいと思っております。

平成28年8月20日

株式会社ミカサ

代表取締役社長

三澤 敏宏